

環境負荷低減を追及したUNIXサーバ SPARC M10開発

UNIXサーバ SPARC M10は環境関連の規格に適合しつつ、同等クラスのUNIXサーバを大幅に凌駕する性能、信頼性・可用性、省スペースを目標に開発。消費電力を最大15%削減（同社従来品比）、さらに、柔軟なサーバ統合により消費電力を最大68%削減（同社同等クラスのサーバを同製品に集約）。また、高いエネルギー効率を達成するため、同社スーパーコンピュータのハイブリッド冷却を進化させた冷却技術を採用。他社に先駆けて開発した冷却技術であり、空冷用ファンの消費電力を半減するとともに、サーバの省スペース化および省電源化を実現した。

